

■児童・生徒の学力の状況

令和8年度全国学力・学習状況調査の結果より
 【国語】「思考力・判断力・表現力」の領域において論理的な思考をもっていることが示唆された。一方で、自分の言葉で書く表現力、言語知識の正確な出力、および複数の情報を比較・処理する能力には課題が見られた。
 【算数】「数と計算」「測定」領域における基礎的な知識・技能が身に付いていることが示唆された。一方で、記述式問題に代表される「思考・判断・表現」の力や、「図形」「データの活用」領域の理解に課題が見られた。

■授業革新推進に向けた、指導上の課題

○読み取った内容を自身の言葉で整理し、論理的に表現する力を育成する。
 ○基礎的な知識を正確に活用する力と、問題文の条件や複数資料を正しく捉える読み解く力を高める。
 ○解の根拠や理由を言語化・記述させることで、思考力・表現力を伸ばす。
 ○「図形」領域での操作活動やICT活用、「データの活用」領域での身近なデータの分析を通して、傾向を読み取り考察・表現する力を育む。

■学校経営方針より（学力向上に関わる内容から）

○「深く考える子」の育成を重点とし、「板橋区授業スタンダード」および「中台小授業スタンダード」を実践する。児童が自ら課題を発見・解決する力を養うため、「めあて」と「ふりかえり」を明確にした問題解決型学習や協働学習を展開するとともに、充実したI.T.O(Input, Think, Output)を取り入れた学習指導の充実と改善を図る。
 ○単位時間の活動および学習の流れを児童に視覚的に提示し、見通しをもった学習を促す。
 ○基礎的な学力の定着をねらいとしたモジュール学習を効果的に実施する。
 ○ICTの有効活用と家庭学習との連携、一人一台端末、ICT機器を活用した「わかりやすい授業」の展開や、電子黒板や児童一人一台端末を効果的に活用する。
 ○年間を通して読書活動を計画的に推進する。地域図書館の活用、読書週間の設定及び地域・ボランティア「よみっこさん」等による読み聞かせ等を通して読書習慣の定着を図る。

■確かな学力の育成に向けての具体的な方策

視点1 板橋区授業スタンダードの徹底、及び 板橋区授業スタンダードSの取組	視点2 ICT環境の適切な維持と活用 個別最適な学び・協働的な学びの実現	視点3 総合的な学習の時間との連携
○授業に対する児童の学習活動のめあてを児童が主体的にもち、学習の見通しをもたせ、振り返りの中で自分の学習に対する自己評価を行う。 ○児童自身で教科書を読み取り、課題を解決する時間を確保する。 ○対話的・協働的な学習によって考えをまとめたり、広げたり、深めたりできるよう一人一台端末を活用する。	○一人一台端末等、ICT機器を活用し、すららドリルや学習者用デジタル教科書を授業や家庭学習に取り入れる。また、タイピング検定を定期的実施して、個別最適化の学習を実現する。 ○ペアや小グループ、全体と様々な学習形態を取り入れ、自分の考えを広げたり深めたりする場面を設定する。	○ESD, SDGsやSTEAM教育につなげて児童のOUTPUTの学習を充実させる。 ○地域人材を活用し、地域巡り、マップ作り等の活動を通して、郷土愛を養う教育活動に取り組む。 ○エコポリスセンターでの学習、社会科の学習等を通じて環境問題に関わっていく態度を育てる。

■MIRAI SCHOOL いたばし-教育ビジョン2035- -アクションプラン2028-の実現に向けた具体的な取組

保幼小接続・小中一貫教育の推進	豊かな心と健やかな体の育成	多様な教育的ニーズへの対応
○「さくら草学びのエリア（若木小・中台中・中台小）」、「特別支援学級交流エリア（上板橋第三中・中台小）」で9年間の目指す子ども像を共有する。交流活動や授業交流を実施し、カリキュラムの円滑な接続により基礎学力の定着、一人ひとりのニーズに応じた個別指導の充実を図る。 ○保・幼・小の合同研修や授業交流を推進し、就学前の学びや生活から小学校への円滑な接続と、一人ひとりに合わせた環境調整を推進する。	○合い言葉『挨拶・返事・ふわふわ言葉』を中心に、基本的な生活習慣の定着と他者を敬う態度を育てる。 ○地域のケアセンター見学、手話や車椅子体験等を通して、他者を思いやり支え合う心を育てる。 ○ユニセフ募金の意義を理解して募金活動に取り組むことで、命を尊び助け合う心を育てる。 ○特別支援学級設置校、特別支援教室拠点校の強みを生かし、交流活動を通して互いを認め、尊重し合う心を育む。	○月に1回校内特別支援教育委員会を実施し、不登校や外国籍児童等状況の把握、支援の共有を図り、具体的な支援と評価を行う。 ○特別な支援を必要とする児童の学校生活支援シートや個別指導計画を作成し、個別に応じた指導・支援を行う。 ○特別支援教室と在籍学級とが連携しコーディネーター、専門員、巡回指導教員、スクールカウンセラー等がチームとなって計画、実施、改善を図る。